



たましゅう
こ
玉小っ子

<http://www.town.tamamura.ed.jp/tamamura-e/>

令和3年度 玉村小学校
学校だより 第5号
2021年5月13日発行

新型コロナウイルスの感染者が群馬県でも多くなり、警戒度は「4」になってしまいました。玉村町の感染者も少しずつ増えてきている感じです。子どもの感染者のほとんどは家庭での感染となっていることから、5月6日付けの教育委員会通知にあるように、家庭内で発熱等の風邪症状のある人が出た場合は、登校を控えて様子を見ていただくようお願いしているところです。

必要な教育活動については、感染防止策を徹底しながら実施していきますが、状況によっては変更せざるを得ないこともでてくると思います。5月24日の緊急時引き渡し訓練も、迎えに来てもらう時間をずらし分散させることで実施する予定でしたが、保護者の方が一斉に集まってしまうことは避けられないと判断し、中止とさせていただきます。家庭での検温、健康観察、手洗い、マスクの着用等これまでの感染予防を引き続きお願いします。



二者面談ありがとうございました



5月6日(水)～12日(水)で二者面談が行われました。短い時間でしたが、学校としては、ご家庭の考えを聞ける貴重な時間となりました。当たり前のことですが、ご家庭でも子どもに「よくなってほしい」「成長して行ってほしい」という深い願いをもっていることを改めて感じました。学校でもご家庭の期待に応えられるよう共通の思いをもって頑張っていきたいと思います。お忙しい中、ありがとうございました。

緑の葉は木が活着ている証～5月の全校朝礼から～

月に一度全校で朝礼があります。感染予防のため、校庭で間隔をあけて実施しています。校長の話は、なるべく季節を感じるができるような話をしていきたいと思っています。

5月は新緑の季節。木々の緑の葉が日の光を浴びてキラキラと輝いています。動物は、動き回って食べ物を見つけ、それを食べて栄養として大きくなるけれど、木は葉っぱを大きく広げ太陽の光をいっぱい浴びて自分で栄養を作り、大きくなっていく。だから、緑の葉っぱは木が活着ている証拠です。というような話をしました。その後、何人かの子が、葉っぱが落ちていたよ、と持ってきてくれました。



社会性の基礎を育てるために～たてわり活動～

今の子ども達の課題として「社会性に乏しい」ということが言われています。あいさつをする、ルールを守る、人の立場を考えて行動する、……。社会性とは、簡単に言うと「人とかかわる力」です。また、「人とかかわりたい」という子ども達の意欲自体が低下しているとも指摘されています。



昔と比べてみれば、今は「人とかかわりたい」という気持ちが育ちにくい環境なのかもしれません。「人とかかわる力」は、かつては、近所の子ども同士との交流や家庭の中のきょうだいの交流の中で、遊びを通して自然に身に付いてきました。大きい子は小さい子をいたわり、守る。小さい子は大きい子に感謝し、憧れる。そういう子ども同士のかかわりの中で、自然に育まれてきたのだと思います。しかし、今は地域や家庭も変わり、メディアの発達によって人とかかわらなくても楽しく過ごせるようになってしまいました。学校での「たてわり活動」が注目されてきたのは、このような背景からだと思います。

玉小のたてわり活動は、1年生から6年生の20人程度の班で活動します。トトロ班、ハリネズミ班、ビックマック班など、6年生がユニークな班名をつけてくれました。班編制は先生が行いますが、先生の役割はそこまで、あとは見守るだけです。企画は高学年の子が考え、実施します。高学年の子は、低学年の子でも楽しめる遊びを考え、班員を思いやりながら活動します。高学年の子の人数は少ないので、みんながリーダーにならなくてはなりません。自分が役に立った、感謝されたと感じた時、自信につながり成長できます。下級生は、高学年の子に守られ、楽しく活動する中で「自分もあな



りたい」と思うようになります。やがて、学年があがるにつれて、お世話される側からお世話する側に役割が変わっていきます。社会性はすぐに身に付くものではありません。6年間かけて子ども自身で獲得していく力だと思います。

たてわり活動は、月に1回程度実施する予定です。どんな姿が見られるか楽しみです。

玉小の風景から

クラス前の花壇に様々な植物が植えられ始めています。キャベツ、ミニトマト、なす、ホウセンカ…。どんなふうになっていくのでしょうか？ いろいろな発見をしてください。



玉小のホームページ

<http://www.town.tamamura.ed.jp/tamamura-e/>

QRコード

